



明峰

令和7年4月18日

第1号

校長 岡野利男

※保護者の皆様、地域の皆様、4月、明峰中学校に校長として赴任しました岡野利男と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

優しさとさわやかさを届ける

「優しさとさわやかさを届ける」という言葉は、私がこれまで大切にしてきた教育観です。

教師という職にある我々の本分は、出会えた子供に優しさとさわやかさを届けることだと思います。そして、出会った人に優しさとさわやかさをプレゼントできる子供の育成に努めることだとも思っています。若い頃からそう考えてきたため、4月1日、本校職員に初めて会えた日、最初に伝えたのもこの言葉です。

学校という場所、教室という空間で、毎日子供たちを迎える我々に求められるのは、「よく頑張っただけで今日も学校に来たね」という構え=優しさとさわやかさです。受け持つ学級に30人の子供がいたならば、そこには、30通りの去年があり、30通りの昨日の晩があったということに思いをはせる教師でありたい。席に着き昨日と同じ表情であるという「事実」の向こうに、耐え難い悲しみを越えて登校した「真実」があるかもしれないということに心を留め置く。事実の向こうにある真実を見抜くことなど誰にもできないけれど、事実の向こうには真実があるのだという構えを持つことはできるはず、そういう構えを持った教師集団であり続けたいと思います。手前味噌ですが、明峰中の職員室には、「優しさとさわやかさ」を備えた職員がそろっていると自負しています。

着任した初日、午後から市役所で行われた辞令交付式に出席した後、学校に戻ってきた時のことです。「ただ今、戻りました」と職員室に入った私に、職員室のあちらこちらから、「おかえりなさい」の声が飛んできました。感激しました。この温かい職員室を財産にしたいと思います。生徒であれ、保護者の方・地域の方であれ、業者の方であれ、訪れた方に、温かく明るいあいさつのこだまを届ける職員室でありたいと思います。

学校長として描く理想の生徒像、あるいは保護者の皆様や地域の皆様へのお願い、そういったものは勿論ありますが、まずもって、私が最初にお話しすべきは、描く教師集団像であると考えた次第です。

それでは、皆様、1年間よろしくお願いいたします。



【35年ぶりの明峰中学校】

私は、平成2年にこの明峰中学校で教職人生のスタートを切りました。初任校に戻るということ、しかも三十数年の間があつて帰ってくるということは、こんなにも幸せなことかという思いをさせてもらう毎日です。

保護者の方の中に私の教え子が何人もいらっしゃる事が分かりました。校長室を訪ねて来てくれた教え子と「懐かしいね」と涙できるなんて、本当に幸せなことです。何人もの私の教え子である保護者にお会いしましたが、聞くところによれば、まだまだそういう方がいらっしゃるとのこと。どうかご連絡ください。「私は、優しさとさわやかさなんて届けてもらってない」とのお叱りを受けること覚悟しています。一人一人に謝りたい…。

民生委員やボランティア等、学校を支える地域の方の中に35年前の保護者の方が何人もいらっしゃることも分かりました。大変ありがたいことです。中には、私がその後、どういう場所でどういう仕事をしてきたかまでご存知の元保護者の方もいらっしゃいました…。

学級担任としても社会科担任としても、全く力のなかった私でしたが、ご縁を頂いて初任校である明峰中学校に戻ってまいりました。精一杯、恩返しをさせていただきたいと思っています。

個人情報の取り扱いについて

保護者の皆様には、年度初め、生徒指導カードや保健調査票等、個人情報に関する書類の提出をお願いしてきたところです。

収集した個人情報は、厳重に保管するとともに、学校の業務以外の目的に使用しないことをお約束します。

また、この学校だよりや本校ホームページでは、授業の様子や学校行事等、生徒の個人名や写真を掲載することがあります。支障があられる方は、学級担任へお知らせください。

なお、私の執筆する便りは、その時々で「校長として考えること」を中心にお届けしたいと思っており、学校便りというより校長室便りの性格が強いかと思います。お読みいただければ幸いです。

※題字の「明峰」は、諫早中学校校長の田上顕二先生にお願いしました。書道家田上先生の大ファンであることから依頼したところ、ご快諾いただきました。本来、自分で書くべきところですが、悪筆のため…ご理解願います。